

(国語分野) 入試 I 問題 2

〈スクリプト〉

これから ニュースを読みます。メモを取りながら聞き、このニュースの内容に合うものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

JR 西日本は山陽新幹線で鮮魚や果物を運搬する実証実験を報道陣に公開しました。実現すれば鹿児島で取れたカンパチやヒラマサ、イチゴや桜島大根をその日のうちに新鮮なまま大阪駅や京都駅まで運び、隣接する JR 西日本系列のホテルで、運んだ素材を使った料理を提供する考えです。

新型コロナウイルスの感染拡大で鉄道の利用が低迷するなか、同じ新幹線に乗っている乗客の動線を妨げずに駅で積み替えができるか、輸送中に温度などの品質を管理できるか、などを確かめました。

JR 各社はコロナ禍によって厳しい経営状況が続いています。二月上旬の山陽新幹線の利用者はコロナ禍以前の三割弱にとどまり、人と荷物を一緒に運ぶ、貨客混載を事業として成立させ、収益の多角化を目指しています。

問題 2 【正解：エ】

- ア 新幹線を使って鮮魚や果物を運搬する実証実験の結果、効果があるとみて、荷物専用の新幹線を走らせる実証実験を続けていく見込みだ。
- イ コロナ禍によって乗客が前年の半分弱に落ち込み、収入が減っているので、荷物を新幹線などで運び、主な事業へと転換しようとしている。
- ウ 鹿児島でとれた鮮魚や果物を安い料金で運搬できる事業が拡大し、他の鉄道会社でも荷物と人を運ぶ事業が評価されている。
- エ コロナ禍によって厳しい経営状況が続き、減少してしまった収益を取り戻すために、人と荷物をいっしょに運ぶ事業を始めようとしている。

(国語分野) 入試 I 問題 5

〈スクリプト〉

問題 5 ではまず A・B の二つの文をメモを取りながら聞いて下さい。

- A 一つひとつ身近な目標を達成していくことで、自信をつけることができます。そして次の目標を見つけて新たな挑戦を始めて行く。そんな繰り返しが大事です。一度や二度の挫折に負けない精神力を持ち、様々な成功例を取り入れ前向きに努力すれば、必ず道は開けます。挫折は人を成長させる最大の良薬だと思います。
- B 何かをしようとした時失敗を恐れずに何度も一所懸命やってください。失敗してうまくいかなかったり、試合に負けてしまったらその理由を考えて反省してください。その努力する姿を見て素晴らしいアドバイスをくれる人に巡り会い、その出会いがきっかけとなって成功へつながっていくはずですよ。

問い この二つに共通して言えることを 30 字程度で答えなさい。

解答例：目標があればたとえ失敗しても、前向きな努力によって成長できる。

(国語分野) 入試Ⅱ 問題5

男の人と女の人が夏の暑さについて話をしています。メモを取りながら聞き、チャイムで消された部分に入れる言葉を自分で考えて20字以内で書きなさい。

男：今日は本当に暑いね。毎年毎年暑くて困るよー。

女：そうだね。

男：そういえばこの前ノーベル物理学賞を受賞した人が、いまから50年以上前に二酸化炭素が増えれば地球の気温が上昇し、地球温暖化につながるということを世界に先駆けて発表してたんだってさ。

女：そんな前から予想してたなんてすごいね。

男：この人の研究した成果がもとになり、地球温暖化や気候変動の研究が進んだんだって。

女：地球は確かに温暖化していて、私たちが今何かをしなければ地球には住めなくなるって聞いたことがあったなあ。

男：そりゃ大変だよな。僕らに何ができると思う。

女：地球温暖化は人間の生活の仕方によって引き起こされているんだってさ。

だから（ 空白 ）例えば、エアコンの温度を下げすぎないとか、部屋の電気をこまめに消すとか。

男：僕たちはこれからのことをいろいろと考えなければいけないってことだね。

解答例：身近なことから始めることが大事だね。

〈スクリプト〉

先生がこれから始まる SDGs の学習について話をします。メモを取りながら聞き、問いに答えなさい。

これから通常の授業とは別に、現代社会における問題のうち、「食品ロス」「水資源」「貧困」の順に学習を進めていきます。

一学期は「食品ロス」について学習します。消費者庁の調査によると、日本国内で、まだ食べられるのに廃棄される食品の量は、612 万トンとされています。

これは毎日大型トラック約 1.700 台分の「まだ食べられる食べ物」が、廃棄されているということです。

世界全体で見ると、食品廃棄物の量は年間で 13 億トンにもなります。食料の生産量は毎年約 40 億トンであるため、単純計算すると、生産量の約 32.5 %は消費されずに廃棄されていることになります。「食品ロス」の現状や、この問題を解決するためにどのような取り組みがあるのかを調査し、今できることは何かを探究します。

問い 日本の食品ロスを減らすために、あなた自身に取り組めることとして、どのようなことが考えられますか。次の資料を参考にして、120 字以上 140 字以内で書きなさい

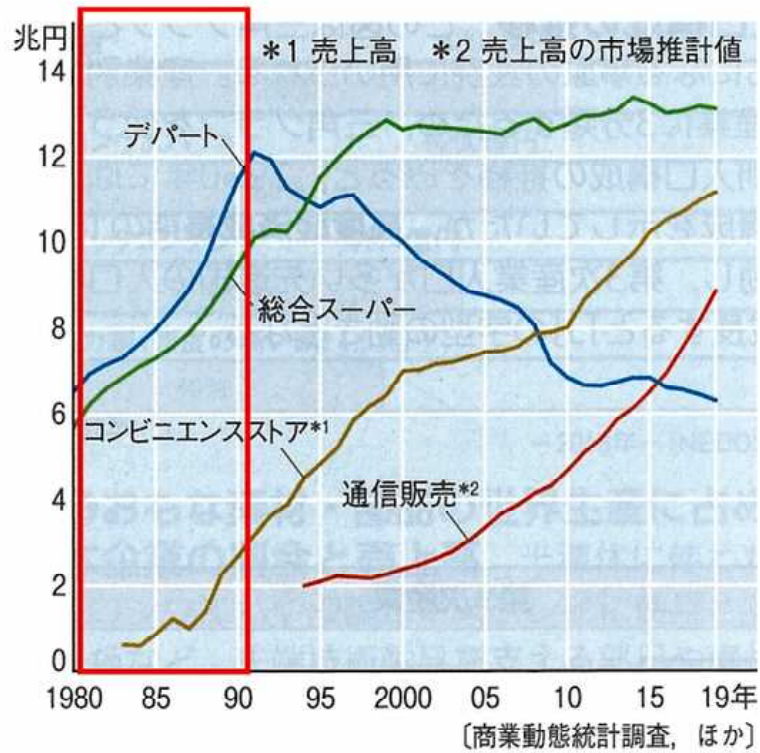
すかいらーくは、
フードロス削減のため
食べきれなかった
お料理のお持ち帰りを
推奨しています。

もったいないを持ち帰ろう
すかいらーく
もったいない
パック

お持ち帰り用の容器をご用意しております。

地方公共団体における食品ロス削減の取り組み事例
消費者庁の資料から出題者が作成

奈良市	家庭や企業等で余っている食品の受取から、保管や仕分作業までが出来る物流倉庫を確保し、まずは子育て中の500世帯への配布を目標に余剰食品の受付を行う「フードバンクセンター」を開設
北九州市	期限の近い食品に貼られた割引シールを集めて応募すると、抽選でエコグッズが当たる「期限切れ食品」削減キャンペーンを、スーパーなどの市内各店舗で実施。
姫路市	「姫路市食品ロスもったいない運動推進店」に登録している食品ロス削減に取り組む市内の食品関連事業者と消費者をつなぐ食品ロス削減マッチングサービス「Utteco (売ってエコ) Katteco (買ってエコ)」を開設。スーパーやパン屋などの小売店、レストラン、カフェが、余った食材や売れ残りそうな食品や食材を格安価格で出品登録し、消費者は本サービス上でお得な希望商品を購入予約することで、食品ロスを削減
広島市	飲食店やホテル・旅館等における料理の食べきりや持ち帰りを推進する「食べ残しゼロ推進協力店」(195店舗)と、小売店における食品ロスの削減を推進する「食品ロス削減協力店」(161店舗)の登録・PR等を実施。



問1 この時期にコンビニエンスストアの売り上げが伸びた背景には、都市に暮らす人々の家族構成や働き方の変化があげられます。それはどのようなことか、答えなさい。

解答例

一人暮らしや核家族が増えて、弁当など少量の物をこまめに買う人が増えたことに加え、朝早くや夜中に働く人が増えて、24時間営業している店の利用が増えた。

(社会分野) 入試Ⅱ 問4

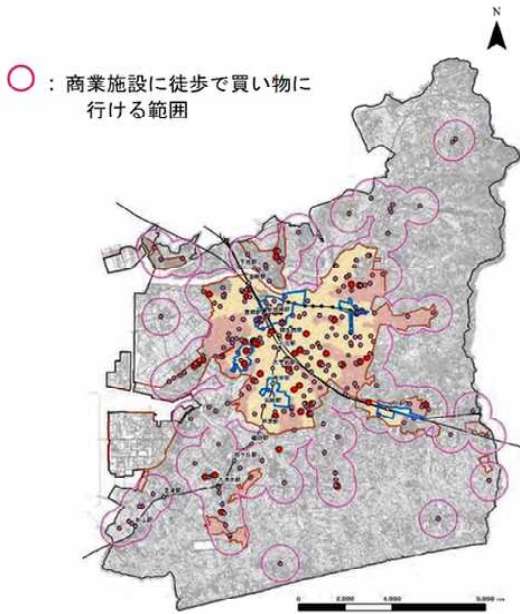


図3 ある市の商業施設の分布

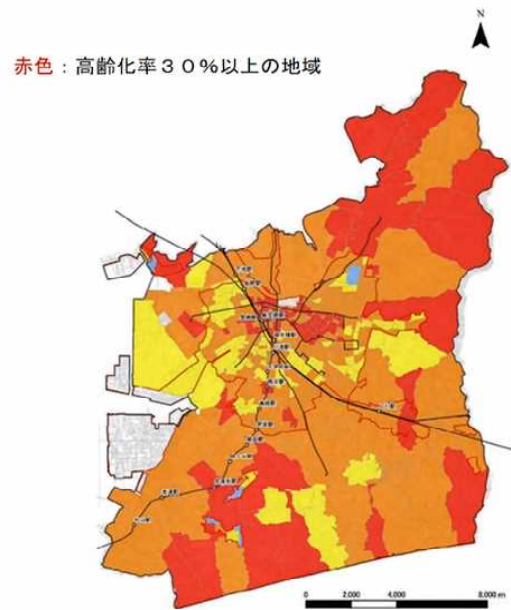


図4 ある市の地域ごとの高齢化率

問4 この2つの図を見て、この地域では、どのような人が、どのような理由で、どのような生活面の課題を抱えているのか答えなさい

解答例

高齢者が多い地域に商業施設が少ないことで、自分で車を運転しないお年寄りは買い物が不便で、日用品の購入にも困っている人が多いと考えられる。